

2024年2月のトピックス

自動車産業

①ベンツ11車種リコール…「A200d」「GLB200d」など

読売新聞 によるストーリー 2024.2.9

メルセデス・ベンツ日本は8日、「A200d」「GLB200d」など11車種計2万2659台（2018年7月～22年5月輸入）のリコールを国土交通省に届け出た。

国交省によると、エンジン・コントロール・ユニットの故障診断プログラムに不備があり、エンジン警告灯が正しく点灯しないことがある。

◆リコール車種とその内容

年月日	車種	内容
2024年02月08日	Cクラス、Sクラス、SLクラス	事故自動緊急通報装置の車載通信モジュールに関する対策
2024年02月08日	GLE	リア信号検知制御モジュールコントロールユニットのソフトウェアに関する対策
2024年02月08日	Aクラス、Bクラス、CLA、GLA、GLB、Eクラス、Sクラス	エンジンコントロールユニットのソフトウェアに関する対策
2024年02月08日	Eクラス	エアコンコントロールユニットのソフトウェアに関する対策

②米フォード、10～12月最終赤字 EV事業の採算が悪化 2024年2月7日 日経

【ニューヨーク】米自動車大手フォード・モーターが6日発表した2023年10～12月期決算は最終損益が5億ドルの赤字（前年同期は12億ドルの黒字）となり、5四半期ぶりに最終赤字に転落した。米労働組合のストライキの影響で主力のガソリン車の販売が伸びず、電気自動車（EV）事業の赤字幅も拡大した。

③ホンダ、米で75万台リコール＝エアバッグに不具合 2024.2.6 時事通信

【ニューヨーク時事】米運輸省道路交通安全局（NHTSA）によると、ホンダは米国で約75万台をリコール（回収・無償修理）する。衝突時にエアバッグの膨らみ方が適切に調整されず、けがのリスクが高まる恐れがある。対象は、2020～22年型の「アコード」「シビック」「HR-V」など。

④トヨタ「ヤリス」「アクア」「シエンタ」約79万台リコール

2024年1月31日 トヨタ自動車は「ヤリス」など3車種で、路面から車体への衝撃を緩和する装置に不具合があり、最悪の場合、走行できなくなるおそれがあるとして、およそ79万台のリコールを国土交通省に届け出ました。対象「ヤリス」と「アクア」、「シエンタ」の3車種で、2019年12月から今年1月19日までに製造されたおよそ79万台。路面から車体への衝撃を緩和する「ロアアーム」と呼ばれる装置が融雪剤によって腐食し、亀裂が生じることがあり、最悪の場合、走行できなくなるおそれがあるということです。

⑤デンソー製ポンプ不具合問題がバイクにも影響 CBR1000RR などホンダ、ヤマハ複数モデルにリコール発表 バイクニュース 2024年1月29日

⑥トヨタ4工場を5日まで停止 「アルファード」など影響 豊田織機のエンジン不正

豊田自動織機は先月29日、自動車用ディーゼルエンジン3機種の出力試験でデータを書き換える法規違反が見つかったと発表した。不正が見つかったディーゼルエンジンを搭載している「ランドクルーザー」や「ハイエース」に加え、同じラインで造る「アルファード」といった人気車種に影響する。

⑦トヨタ自動車・豊田会長が新たなグループビジョン公表、グループの品質不正を陳謝 トヨタグループ相次ぐ不正 豊田会長「ゆとりなかった」

開発遅れ「会社に迷惑」「できない」言えぬ風土 (2024年1月30日)

トヨタ自動車グループの不正が止まらない。日野自動車、ダイハツ工業に加え、豊田自動織機でエンジンの認証手続きに関する不正の拡大が明らかになった。開発や納期が短くなり、現場の負担が増して不正につながった。

グループ不正には共通点 (主な指摘事項)	
硬直的な開発日程	<ul style="list-style-type: none"> 不合理な開発日程の策定(豊田織機) 過度にタイトで硬直的な開発日程(ダイハツ)
モノを言えない空気	<ul style="list-style-type: none"> 問題が適切に上司に共有される環境が整っていない(豊田織機) 「言ったところで何も変わらない」という諦め感(日野)
体制の不備	<ul style="list-style-type: none"> 専門部署が存在しない(豊田織機) 担当人員の削減(ダイハツ) 開発業務と認証業務を兼任(日野)

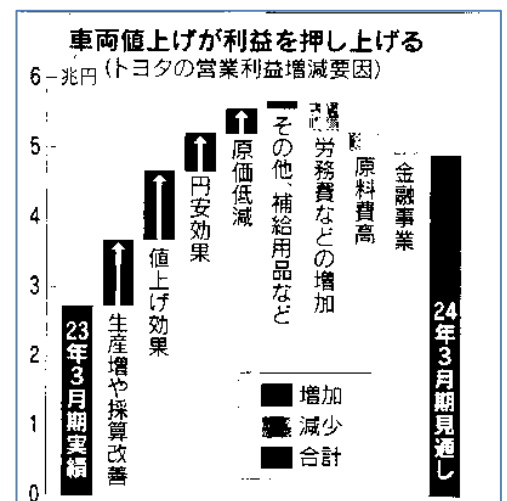
豊田会長の発言骨子	
不正に対する見解	<ul style="list-style-type: none"> (不正を起こした各社は)会社を作り直すくらいの覚悟でやらざるを得ない。私も相談に乗っていく
対応策	<ul style="list-style-type: none"> 私が責任者としてグループの変革をリードする グループ17社全ての株主総会に出席する。株主、ステークホルダーの立場から見ようと思う
トヨタの責任	<ul style="list-style-type: none"> (不正を見抜けなかったのは)正直、「ゆとり」がなかった。トヨタを立ち上げらせるだけで精いっぱいだった
企業風土	<ul style="list-style-type: none"> トヨタ生産方式(TPS)の目的は効率ではない。改善が進めば風土をつくることだ



「次の道を発明しよう」豊田章男が示したビジョン

⑧トヨタ、純利益4.5兆円へ 24年3月期 HVがけん引

トヨタ自動車は6日、2024年3月期の連結売上高予想を従来の43兆円から43兆5千億円に、純利益は3兆9500億円から4兆5千億円に上方修正したと発表した。いずれも過去最高



⑨ TSMC 熊本第2工場、2027年稼働へ トヨタ2%出資 2024年2月6日

【台北=龍元秀明】半導体世界大手の台湾積体回路製造(TSMC)は6日、熊本工場の運営子会社であるJASM(熊本県菊陽町)にトヨタ自動車が出資すると発表した。熊本県に日本で2番目となる工場を設け、2027年末までに稼働を予定する。自動車向けなどの半導体需要を見据え国内の供給体制を拡充する。

電子部品産業

⑩ 電子部品大手7社が減益

2024年(令和6年)2月8日(木曜日)

電子部品8社の連結業績			
	23年4~12月期		24年3月期
	売上高	最終損益	最終損益
① 村田製※ (京浜) 7万人	1兆2497 (▲7)	1745 (▲18)	2250 (▲8) 18%
② ニデック※ (京浜) 10万人	1兆7546 (3)	1459 (40)	↓1350 (3倍) 2.7%
③ TDK※ (東京) 10万人	1兆6189 (▲5)	1194 (▲13)	↑1200 (5) 2.4%
④ 京セラ※ (京浜) 8万人	1兆4926 (▲2)	903 (▲24)	↓1000 (▲22) 6.2%
⑤ 日東電工※ (大府) 2.5万人	6939 (▲6)	816 (▲15)	1000 (▲8) 14%
⑥ ローム (京都) 2.4万人	3551 (▲9)	451 (▲34)	↓480 (▲40) 14%
⑦ 太陽誘電 (東京) 2.2万人	2418 (▲2)	36 (▲86)	↓30 (▲87) 0.1%
⑧ アルプスアル (大田) 3.4万人	7353 (5)	▲203 (赤字転落)	↓▲350 (赤字転落)

(注) 単位億円、カッコ内は前年同期比増減率%。▲はマイナス、赤字。※は国際会計基準。24年3月期は見直し、↑は上方修正、↓は下方修正

太陽誘電など5社、通期下方修正

電子部品大手8社の2023年4~12月期連結決算が7日出そい、ニデックを除く7社が前年同期比で最終減益になった。低迷が続くスマートフォン市場は底入れ感が出ているものの、電気自動車(EV)市場の萎縮や低調なIT(情報技術)関連投資、中国景気の減速などが重荷となっている。決算発表にあわせ5社が24年3月期通期の業績見直しを下方修正した。

7日に決算発表した太陽誘電など8社の23年4~12月期の合計純利益は前年同期比18%減の6402億円、4~12月期として4年ぶりの減益となった。

本業の製品出荷が低迷し、前年同期に比べてドルやユーロが円安水準で推移したことによる押し上げ要因でも補いきれなかった。

背景にはスマホやパソコン(PC)の低迷に加え、データセンター(DC)投資が低調なことがある。

IT大手が生成AI

4~12月最終 IT関連低調

電子部品大手7社減益

地場産業

①能登半島の窯業



丸和工業株式会社

本社・工場 〒927-1203 石川県珠洲市正院町平床立野部26番地

切り出し七輪 坑口より 400メートル程入った地下約 30メートルの採掘場から切り出します。



日本唯一の天然珪藻土岩 切り出し七輪
 MARUWA MANUFACTURING Co., Ltd.
丸和工業
 有限会社
 本社工場 TEL0768-82-5313

丸越工業株式会社

所在地 < 本社・工場 > 〒926-0173 石川県七尾市石崎町又部 69

従業員数 20名(平成27年3月現在)

主要事業 耐火断熱材製造販売

営業品目

- 珪藻土品(ピザ窯、コンロ等)
- 耐火断熱レンガ(JIS耐火断熱れんが)
- セラミックファイバー類、アルミナファイバー類&モジュールヒーター



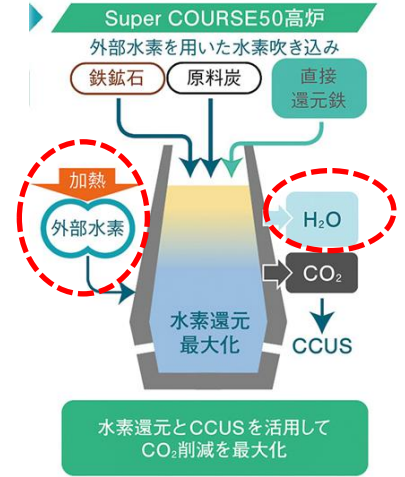
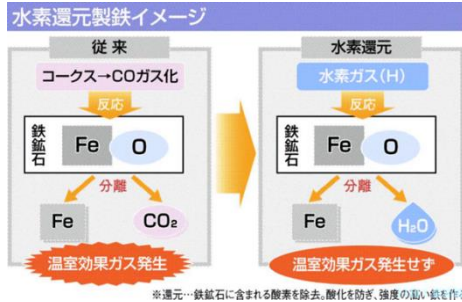
テクノロジー

⑫GX 債 1.6 兆円で脱炭素支援 水素製鉄に 2500 億円 EV 電池に 3300 億円

競争力底上げ 2024 年 2 月 5 日 「GX(グリーントランスフォーメーション)経済移行債」 10 年間で 20 兆円を発行

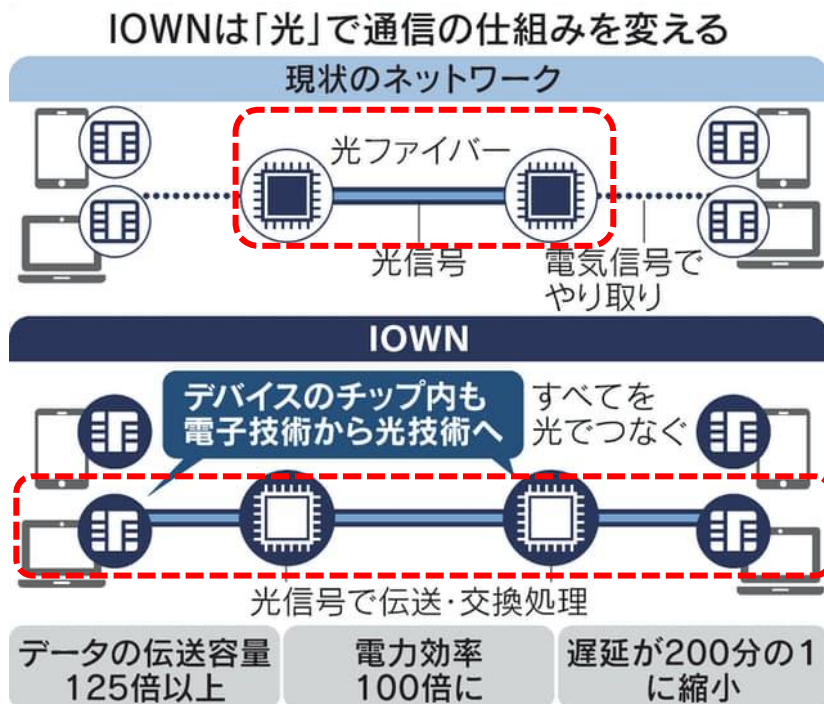
GX移行債による主な支援先

研究開発	水素製鉄 2564億円	日鉄、JFE、神鋼
	次世代半導体 750億円	NTT、新光電気、キオクシア、マイクロン
	工業炉 325億円	中外炉工業、三建産業、東京ガス
	次世代原発 124億円	三菱重工
生産拡大	蓄電池 3316億円	ホンダ、GSユアサ、トヨタ、パナソニック
	パワー半導体 1523億円	東芝、ローム



⑬次世代の「光半導体」開発、経産省が452億円支援…NTT・アイオン構想の中核技術

2024/01/30 電気信号に変換することなく、光のまま情報を伝達することで消費電力を抑え、通信の遅延も減らすことができる。2029年までに、研究開発を行う。半導体大手キオクシアやNEC、富士通、古河電気工業、新光電気工業など国内7社も参加する。



⑭フランス全土で農家が EU 規制に抗議 道路封鎖相次ぎ物流や交通混乱

1/26(金) 5:30 配信 朝日新聞デジタルほか



EUは「欧州グリーンディール」を打ち出し、農地の一定割合を休耕地にすることや農薬の使用削減を定めた内容で、大きな負担を強いられる農家の不満の原因になっている。

現代版フランス革命 先月(2024年1月)のダボス会議で、農業が二酸化炭素排出の原因と出され、ヨーロッパでは農業に重税を課すなど、農業の縮小化に対して農家が反発しています。

⑮ドイツ全土で農家らが抗議デモ 首都まひ状態、極右支持拡大 2024.01.16 Tue JST



ドイツ・ベルリン(CNN) ドイツのベルリンで増税や補助金カットに抗議する農家の大規模デモが1週間にわたって続き、首都はほぼまひ状態に陥っている。ベルリンのブランデンブルク門前の道路は15日、トラックやトラクターで埋め尽くされた。警察によると、農業従事者1万人以上が運輸業界と連携して首都に詰めかけている。

⑯1/31(水) NYコミュニティ・バンコプ株が45%下落、予想外の損失で減配

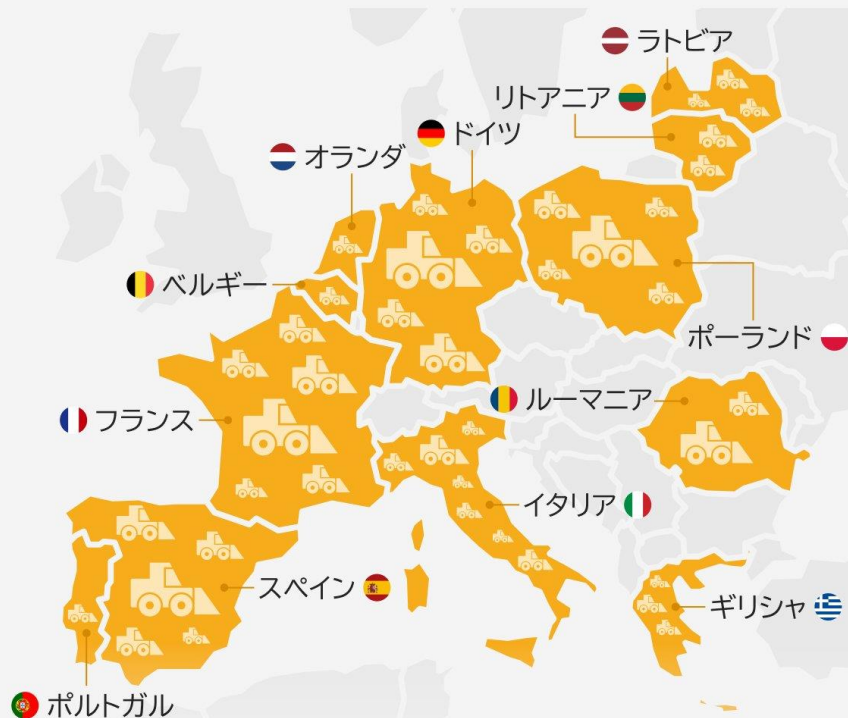
NYCBショック2日目、地銀株は大幅続落—投資判断引き下げ相次ぎ

(ブルームバーグ): 2023年に破綻した米地銀シグネチャー・バンクから預金を買取った銀行持ち株会社ニューヨーク・コミュニティ・バンコプ(NYCB)は、同年10-12月(第4四半期)決算が予想外の赤字となり、配当を引き下げた。

⑰2/1(木) あおぞら銀が280億円の赤字に、米不動産リスク波及—株ストップ安

(ブルームバーグ): あおぞら銀行は1日、今期(2024年3月期)の連結業績見通しを下方修正した。純損益は240億円の黒字から一転して280億円の赤字に陥る。米不動産向けに融資で損失に備える追加の引当金を計上するほか、米金利の上昇を受けた外国債券の含み損を処理する。

欧州における農家抗議デモ

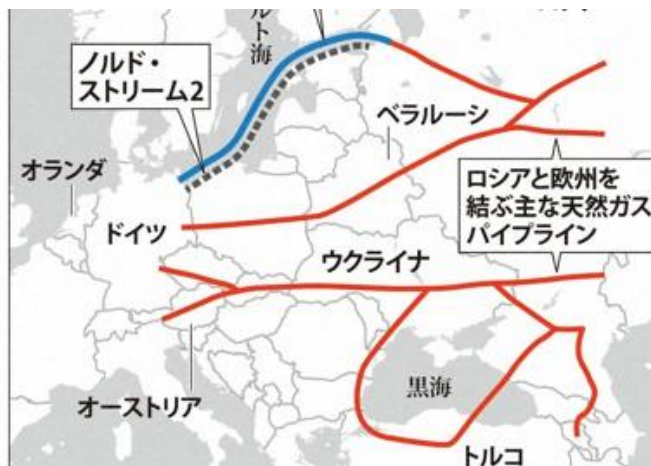


デモの原因:

- 生産コストの上昇
- 低賃金
- 不当な課税
- ウクライナからの安い農産品
- EUの農業政策

出典:オープンソース

SPUTNIK



2022年9月26日。バルト海を經由してロシアとドイツを結ぶ天然ガスのパイプライン「ノルドストリーム」が何者かに爆破された。場所はデンマークの沖合、4本あるパイプラインのうち3本が破壊された。